

Koyomi

2025 | 令和7年

vol.54 7/20 発行

CONTENTS

Smile Pick Up!	1
加算算定状況調査／ こっそり聞かせてシリーズ	2
外国人介護人材採用活動	3
施設長リレーコラム	4

ご利用者様の
笑顔がうれしい

まきの るい
牧野 星 さん

所属／特別養護老人ホームなぎさの里

職種／介護士

経歴／新潟市生まれ

専門学校卒業後

社会福祉法人恵生福祉社に入職

趣味／カフェ巡り・ドライブ

Smile Pick Up!

● 今後について

ご利用者様一人ひとりの状況を丁寧なコミュニケーションを通して理解し、ご利用者様の気持ちにできる限り寄り添いながら、ニーズに合わせたより充実したケアを提供していきたいと思っています。それと同時に、自分自身の介護技術のスキルアップや資格取得も目指していきたいと考えています。

介護の仕事に就いて1年目ですが、ご利用者様とのやりとりは楽しく、やりがいを感じています。特に、対応させていただいた時にご利用者様が「ありがとうございます」や「お世話になります」と笑顔で言ってくれたり、話すことが困難な状態の方が目を見てうなづいてくださる様子を見ると、とても嬉しくなります。私の働いているなぎさの里では「自立支援介護」に力を入れていて、ご利用者様の状態の改善を目指す介護を行っています。最初は食事を召し上げる事ができなかった方が少しずつ口から栄養をとれるようになった事例もあり、このようにご利用者様の状態に良い変化が見られた時は何より嬉しく、また頑張ろうという気持ちになります。

大変だということもありますが、そんな時はその場で深呼吸し、10秒数えて気持ちを落ち着かせて自己分析をするという時間を大切にしています。

● 大切にしていること

祖母が施設に入所していて、面会の際に職員の方々が優しく接してくださるおかげで、祖母が笑顔になっているのを何度も見てきました。そのやりとりを見て自分も高齢者の方に笑顔になってもらえるような仕事に就きたいと思いました。また、高齢化が進む中、介護業界は人手不足であることを知り、介護の現場で私力になりたいと思い、今の施設に入職しました。

● 就職のきっかけ

加算算定状況調査



令和6年度介護報酬改定における加算項目の整備状況を把握するため、本調査を実施しました。本調査で得られたデータは今後のエビデンスとして活用して参ります。

調査期間／令和7年1月23日(木)～2月7日(金)

調査対象／特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、グループホーム

回答数／101件(特養)、84件(デイ)、16件(GH)

●個別機能関連加算(Ⅲ)

〈特養〉

あり 13.9% なし 86.1%

「なし」回答理由／人員課題 35.6%、
体制課題 57.5%、その他 1.1%、
無回答 5.7%

●個別機能訓練加算(Ⅰ)口

〈デイ〉

あり 20.2% なし 79.8%

「なし」回答理由／人員課題 59.7%、
体制課題 34.3%、その他 1.5%、
無回答 4.5%

●退所時栄養情報連携加算

〈特養〉

あり 16.8% なし 83.2%

「なし」回答理由／人員課題 8.3%、体制課題 71.4%、その他 15.5%、無回答 4.8%

●退所時情報提供加算

〈特養〉

あり 23.8% なし 76.2%

「なし」回答理由／人員課題 7.8%、
体制課題 66.2%、その他 18.2%、
無回答 7.8%

〈GH〉

あり 31.3% なし 68.8%

「なし」回答理由／人員課題 9.1%、
体制課題 45.5%、その他 27.3%、
無回答 18.2%

●協力医療機関連携加算

〈特養〉

あり 加算(Ⅰ) 33.7% なし 58.4%

「なし」回答理由／人員課題 0.0%、
体制課題 84.7%、その他 6.8%、
無回答 8.5%

〈GH〉

あり 加算(Ⅰ) 31.3% なし 68.8%

「なし」回答理由／人員課題 18.2%、
体制課題 54.5%、その他 9.1%、
無回答 18.2%

●配置医師緊急時対応加算(勤務時間外)

〈特養〉

あり 24.8% なし 75.2%

「なし」回答理由／人員課題 19.7%、体制課題 71.1%、その他 3.9%、無回答 5.3%

●認知症チームケア推進加算

〈特養〉

あり 加算(Ⅰ) 3.0% なし 93.0%

「なし」回答理由／人員課題 30.9%、
体制課題 57.4%、その他 5.3%、
無回答 6.4%

〈GH〉

あり 加算(Ⅰ) 6.3% なし 81.3%

「なし」回答理由／人員課題 23.1%、
体制課題 61.5%、その他 0.0%、
無回答 15.4%

●高齢者施設等感染対策向上加算

〈特養〉

あり 加算(Ⅰ) 5.0% なし 78.2%

「なし」回答理由／人員課題 6.3%、
体制課題 83.5%、その他 5.1%、
無回答 5.1%

〈GH〉

あり 加算(Ⅰ) 6.3% なし 93.8%

「なし」回答理由／人員課題 20.0%、
体制課題 66.7%、その他 0.0%、
無回答 13.3%

●新興感染症等施設療養費

〈特養〉

あり 3.0% なし 97.0%

「なし」回答理由／人員課題 3.1%、
体制課題 73.5%、その他 16.3%、
無回答 7.1%

〈GH〉

あり 加算(Ⅰ) 6.3% なし 100.0%

「なし」回答理由／人員課題 12.5%、
体制課題 56.3%、その他 18.8%、
無回答 12.5%

●生産性向上推進体制加算

〈特養〉

あり 加算(Ⅰ) 4.0% なし 64.4%

「なし」回答理由／人員課題 4.6%、
体制課題 83.1%、その他 7.7%、
無回答 4.6%

〈GH〉

あり 加算(Ⅰ) 6.3% なし 62.5%

「なし」回答理由／人員課題 20.0%、
体制課題 60.0%、その他 0.0%、
無回答 20.0%

考察

協力医療機関との連携強化や高齢者施設等における感染症対応力の向上には地域差もあると思われますが、体制整備に課題があると回答した会員施設が多く、実効性のある連携構築にはまだ相当の時間を要すると考えられます。
(井野端)

聞かせてシリーズ

夏編

今回は「夏」をテーマにアンケートを実施しました。ご協力いただき、ありがとうございました。



アンケート結果

Q この夏にいきたいところは？

- 👑1位 避暑地 37.0%
- 👑2位 テマパーク 20.5%
- 👑3位 南国リゾート 19.2%
- 4位 実家 7.5%
- 5位 極寒の地 2.1%

〈その他〉温泉、仕事、世界遺産、水族館、甲子園 等々

Q 夏の宝くじが当たったら何に使う？

- 👑1位 貯金・運用 37.7%
- 👑2位 マイホームの購入・修繕 24.0%
- 👑3位 豪華旅行 17.8%
- 4位 美食を堪能 6.2%
- 5位 服の大量購入 2.7%

〈その他〉車の買い替え、生活費にする、施設納涼会で3尺玉をあげる 等々

外国人介護人材採用活動

直接現地へ赴いて採用活動を行う施設をご紹介します。

特別養護老人ホーム

ジェロントピア新潟 IN スリランカ

当施設は、2019年より外国人材の採用を積極的に進めています。先日も、その一環として、日本職業訓練センターの開講式に出席し、2名のスリランカ人を受け入れるためスリランカへ行ってきました。

超少子高齢化の日本において、外国人材の受け入れは避けて通れない課題です。彼らが日本に来て良かったと思ってもらえるよう、適正な給料を支払い全力でサポートしていきます。

また、雇用に関する経費を削減するため、私自身が日本語教師の資格を取得するなど、施設主導で日本語教育、生活支援、そして介護教育を行っています。はじめは大変なこともありましたが、彼らと共に働くことで、日本人介護職員の知識と技量が大幅に向上したと実感しています。今後もやる気にあふれる若い力を積極的に新潟に招き、共に成長していける職場環境を築いていきたいと考えています。

(施設長・松田)



首都コロomboに開講した日本職業訓練センターの開講式の様子です。



日本語の歌と踊りの披露や、活発なディスカッションもありました。

現地で面接をし、日本に戻った後3名の採用を決めました。



学生たちとの懇親会もありました。



社会福祉法人

中東福祉会 IN ネパール

(特別養護老人ホーム 菅名の里 他)



令和6年度から安定的な人材確保、サービス提供体制維持のため、外国人介護人材の採用に取り組んでいます。複数の支援機関からのプレゼンを受け、検討した結果、ネパール人を迎えることにしました。昨年11月には現地を訪問し採用面接を行い、日本への留学、そしてその後に介護福祉士として就労を希望する大勢の学生を面接し3名の方を採用する運びとなりました。

面接会を通じて、彼女たちの日本への憧れを強く感じ、「日本は美しく、安全な国」と目を輝かせて話している姿が印象的でした。「介護」に対する大きな不安を抱きながらも、彼女たちの持つ「意欲」や「ひたむきさ」は私たち日本人が学ばなければならぬと感じた現地視察となりました。

(帛の郷 園長・捧)

現地の学生がオンラインで介護の勉強をしている様子です。



施設長 リレーコラム

連載 | vol.54

みんなが笑顔
みんなの喜び
みんなが満足



小千谷市養護老人ホーム
園長
うちやま かずこ
内山 和子さん



地域の
衣料店から
買い物

小千谷市養護老人ホーム

事業所所在地 ● 新潟県小千谷市小栗田2732番地6
運営事業者 ● 社会福祉法人 小千谷北魚沼福祉会
事業所の種類 ● 養護老人ホーム／50名、外部サービス利用型特定施設入居者生活介護
連絡先 ● TEL／0258-83-2196
E-mail／ojiya-yo@friend.ocn.ne.jp

施設
概要

養護老人ホームは県内に16施設ありますが、歴史を見ますと、昭和4年に制定された救護法において、老衰、疾病、貧困などにより生活が困難な高齢者を保護する施設として「養老院」が現在の養護老人ホームのルーツとされ、老人福祉施設の先駆的存在としてその役割を担ってきました。

小千谷市養護老人ホームは、平成15年に地方自治法の改正により指定管理者制度が導入され、平成16年4月当法人が指定管理者として受託してから22年目を迎えております。施設の歴史は古く昭和13年に小千谷救護院として創立され、地域で生活することが困難な高齢者の入所施設として役割を務めてきました。平成18年には制度改正により、介護保険サービスを利用することができるようになり、これを機に介護保険事業である外部サービス利用型特定施設入居者生活介護事業を開始しました。現在50名定員の内、13名前後の方が介護保険サービスを利用しています。設備面では、利用者の高齢化や重度化に合わせて、居室や食堂集会室を畳からバリアフリーに、排泄介助し易いトイレ等に、市のご配慮により改修を重ね、利用者が安全で生活しやすく、職員が働きやすい環境に改善してきました。

また新型コロナの「5類移行」後、できるだけコロナ禍以前の生活に戻れるよう感染症の発生状況を確認しながら工夫した中で、利用者の個々の生き甲斐や生活習慣等を大切に、地域交流やボランティアの受入れを再開しました。地域の皆様とのふれあいは、対話や活動を通じて刺激と活力をもたらす社会とのつながりを実感できる機会となっています。

また法人理念の中にある「みんな」というのは、ご利用者、ご家族、ボランティア等地域の方々、そして当法人で働く職員を指しており、みんなの満足を叶えることを目指しています。これからも時代の変化とともに、より良い福祉サービスの質の向上を図りながら地域に根差した事業を継続してまいります。

外部講師による
お花クラブ
個々の趣味と
生き甲斐



小千谷市
養護老人
ホーム

畳から
バリアフリーへ
居室の改修



地域交流
お正月の
神楽舞



外部講師による
軽体操教室
刺激と活力

小千谷利雪
研究会様から
7月に「夏の桜」の
プレゼント



地域交流
こども神輿

